

わ き ま ち ち ゅ う し ん ち く  
**脇町中心地区**  
 (徳島県美馬市)

- 計 画 期 間 平成 17 年～21 年
- 面 積 225 ha
- 交 付 対 象 事 業 費 470 百 万 円
- 市 人 口 33,944 人 ( 地 区 内 人 口 4,066 人 )

**ポイント** うだつの町並みを核とした、人・歴史・文化・自然が共生するほんもの志向のまちづくり

**地区概要** 観光・リゾートタウンとして、地域の歴史・文化・自然環境を活かした個性あふれるまちづくりを図る。

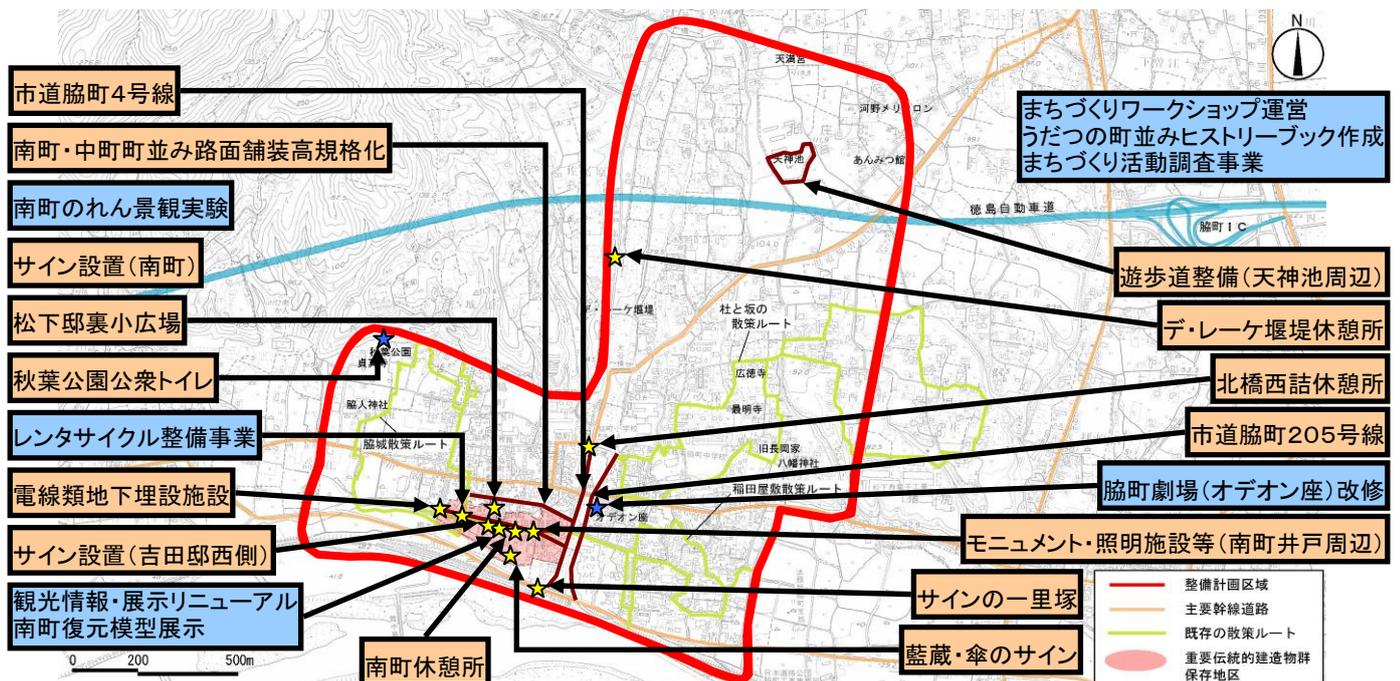
**目 標** 約 300 年の歴史を受け継ぐ重要伝統的建造物群保存地区「うだつの町並み」は、旧来より美馬地区の行政、業務の中心として発展し形成されてきた地区である。この地区を核として、歴史と文化、自然環境と共生する、かつて栄えた商人の「活気あるまち」を取り戻し、県西部の中核、観光地としての役割を果たすことを目標とした。

**指 標** うだつの町並みを核とした観光スポットの拡大等で、訪れる観光客入込数、及び滞在時間延長の達成度を測る。また住民参加による観光・文化活動の推進を測る。

項 目	現況値 (年)	見込み値 (年)
観光バスの駐車時間	50 分/台 (H16) →	90 分/台 (H22)
観光関連主要施設来館者数	16,000 人/月 (H16) →	20,000 人/月 (H22)
ボランティア活動者数	250 人/年 (H17) →	500 人/年 (H22)

**事業内容** 基幹事業 (364.9 百万円) → 道路(市道脇町 4 号線 延長 480m、市道脇町 205 号線 延長 420m)、サイン計画 (4 箇所)、路面舗装高規格化 (面積 4,390 m<sup>2</sup>)、休憩所・小広場 (4 箇所)、電線類地下埋設施設、遊歩道整備 (400m)、モニュメント・照明施設 (1 箇所)、公衆トイレ (1 棟)

提案事業 (106 百万円) → レンタサイクル整備、観光情報・展示リニューアル (1 箇所)、南町復元模型展示、脇町劇場 (オデオン座) 改修、まちづくり活動調査、まちづくりワークショップ運営、うだつの町並み歴史ブック作成、南町のれん景観実験



## 地区の現況と課題

当地区は、旧来、美馬地区の行政、業務の中心地として発展し、形成されてきたが、近年のモータリゼーションの発達や、県道バイパスの整備による、主要官公署の移転、大規模店舗の参入により、商店街の空洞化、経営住民の高齢化、後継者不足等が急速に進んでいる。

## 提案事業の特徴

### レンタサイクル整備事業

サイクリングルート策定により、豊かな自然の中、見所のある場所を散策できるよう現行の貸自転車システムをアップグレードする。

### 観光情報・展示リニューアル、南町復元模型展示

うだつの町並みの代表的建造物である吉田邸内の展示品を充実させ、地元工業高校より町並み復元模型を展示品に加えるとともに、藍蔵内の観光情報システムを構築することにより、観光客の滞在時間の延長を図るとともに、県西部の観光拠点としての機能を果たす。

### 脇町劇場（オデオン座）改修

観光の中核施設であり地域のイベント会場としても位置づけられる脇町劇場を安全面、施設整備、外観の改修により、観光施設として、また地域のコミュニティの場としての活用を広げる。

### うだつの町並み歴史ブック作成

うだつの町並みの歴史をマンガによる歴史ブックを作成し、観光客や市内公共施設への配布を行い、住民の町並み保存・ボランティアへの参加や観光のリピーター誘導のツールづくりを行う。

### 南町のれん景観実験作成

地域の伝統産業である藍染のれんを住民参加で作成し、うだつの町並みでの景観実験を行う。住民参加による景観実験を行うことで、住民の町並み保存・景観の関心度を高め、まちづくりの意識向上やボランティア参加への波及効果を目指す。

## 計画策定プロセス

### ワークショップの開催

地元住民中心によるワークショップ開催で、住民の意向を反映している。より早期の住民参加を促し、設計段階においても住民参加を求めている。

### 住民による要望書作成

住民は、まちづくり交付金事業の内容を理解した上で、ワークショップ等で出された意見を自ら要望書としてまとめ市に提出し、それを市で検討し、可能であれば事業化するという流れが出来つつある。



▲うだつの町並み

▼南町復元模型展示 吉田邸展示リニューアル



▲脇町劇場（オデオン座）

▼住民参加の各種イベントの開催



有名華道家と住民協力による生け花イベント



うだつ黄門まつり

▼まちづくりワークショップの様子



---

## ■ 牧田市長のコメント

---

今回の受賞は、「まちづくり交付金事業」の趣旨にのっとり、官民一体となった取り組みが評価されたものと思いません。

「脇町中心地区」を核としたまちづくりは、昭和50年代後半より始まり、まちなみ保存会、ボランティアガイド連絡会等、地域住民の積極的な活動と、それらを行政がバックアップするという形で今日まで行われてきました。

「うだつの町並み」は、住民が生活を営みながら保存されている、町並み博物館とも云える歴史的遺産であり、周辺の脇町劇場「オデオン座」、大谷川の柳並木、デレーケ堰堤等と相まって、観光地として大きく成長しております。また、ボランティアガイド等、地域住民のもてなしの心が、多くの方に好感をもっていただいております。映画、人気テレビ番組ロケ等も行われ、「うだつ」といえば脇町といわれるまでになりました。

美馬市には、このほかにも美馬町の寺町、清流穴吹川、木屋平中尾山高原レジャー等多くの観光資源があり、それぞれの歴史・文化・自然環境を活かした個性あふれるまちづくりに取り組んでおります。

美馬市長 牧田 久

---

## ■ うだつの町並みボランティアガイド連絡会会長のコメント

---

「まち交大賞 テーマ賞」選定ありがとうございます。

私たちは、観光ボランティアガイドとして、単なる観光施設の案内にとどまらず、地域の暮らし、風土、生活習慣までも含めた、ありのままを知って頂くことを心がけてきました。

まちなみ保存に関しても、行政との意見交換をとおして積極的に取り組んできました。この度の受賞は、市の事業だけでなく私たちの日々の姿勢、それら全てにたいしての評価がなされたものと思います。今後も、「古き良き日本人の心を伝える」をモットーにがんばっていきたいと思いますので、多くの方の来訪をお待ちしております。

うだつの町並みボランティアガイド連絡会会長 正木 文子

---

## ■ まちなみ保存会会長のコメント

---

当地区が重伝建保存地区の選定を受け31年が経過しました。その間、国交省、市役所、各種関係機関など多くの協力を得て、道の駅の設置、電線の地中化、デ・レーケ公園の整備など、時を追って環境が整ってきました。

その結果、観光客の増加も目に見えるようになり、二度三度来訪された方から、「立派になりましたね。」と声をかけられるほどになっております。

今後の課題としては、空き家対策、居住者の高齢化対策等を進めながら、歴史、文化、自然、人々が共生し、現在の通過型から滞在型へ変容し、観光客のニーズに応える町を創っていきたくと考えております。

まちなみ保存会会長 笠井 重幸